



平成26年度 最優秀 卒業論文賞(共著)
NPOバンクを活性化させる仕組みの提案



NPOや市民活動を
資金面から支えるNPOバンク
西俣先子ゼミナール
環境経済学科4年 森口 慎也
環境経済学科4年 山田 絵美

平成26年度 最優秀 地域活性化活動取組賞
十分杯を使って長岡を盛り上げよう



知名度の低い歴史的題材は
観光資源になれるか
権五景ゼミナール
人間経済学科2年 中澤 司
環境経済学科2年 中沢 裕太
人間経済学科2年 小川 雄気

卒業生からのメッセージ「大学生活を振りかえって」



環境経済学科4年
石川 貴也

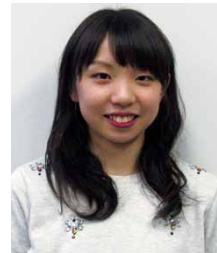
まず、4年間お世話になりました。心より感謝申し上げます。

私は、高校生の時に行ったオープンキャンパスで長岡大学への進学を決めました。

入学後は良い先輩に出会い、ボランティアや悠久祭実行委員会、学友会、サークル活動に力を入れました。1年次には、東日本大震災のボランティアに何度も参加し、被害の大きさと復興支援の大切さを実感しました。2年次には、学友会のクラブ連合会長に就任し、各サークルへの連絡や手続等を行いました。また、長岡まつり民踊流し参加のリーダーとして、約100人をまとめる仕事も行いました。3年次には悠久祭実行委員長として活動し、とても忙しい一年を過ごしました。4年次にはサークルであるKFCの部長として活動し、楽しい企画を考え、実行しました。

4年間、様々な活動を通じて、とても成長することができました。これは大学で出会った仲間、優しい先輩、先生、職員の皆様のおかげだと思います。私に多くのチャンスを渡してくださったことに感謝申し上げます。また多くの出会いがあり、様々なお話が聴けました。狭かった私の世界がこの4年間で大きく広がりました。これは卒業後に絶対に役立つことだと思います。この4年間で経験したことを糧に充実した人生を歩みたいです。

長岡大学に入学して、本当に良かったと思っています。多くの出会いがあり、多くの仲間ができました。苦しい時期もありましたが、4年間を通して、充実した楽しい時間を過ごすことができました。卒業後も遊びに来たいと思います。今後は長岡大学への感謝を胸に、社会人として活躍したいと思います。



人間経営学科4年
高橋 奏

あっという間の4年間でした。最初の頃は、長岡に来ること、一人暮らしをすること、地元以外に友達をつくること…すべてが初めてづくしで、ついていくのがやっとでした。

でも、大学に慣れた2年生の頃から大学だけではなく、積極的に大学外に出るようになり、その中で会う人会う人が素敵な方、尊敬できる方で良い刺激を受けました。高校までの自分では考えられないほど成長できた4年間でした。

楽しかったことは旅行です。この4年間でいろいろな所に行きました。北は北海道から南は鹿児島、海外では韓国にも行きました。どれも思い出に残っています。卒業が近くなり、行きたかったなと思うところが沢山出てきます。在学生のみなさんは、時間がある大学生の間にお金を工面して、ぜひ旅行に行ってください。

勉強では簿記やパソコン系を主に勉強し、資格取得を頑張りました。資格取得支援センターや試験直前対策講座の利用が役立ちました。勉強する上で、目標や目的をもっと具体的に見つけながら勉強すればよかったです。

就職活動が3年生の12月から始まり、4年生の10月まで続きました。就活と勉強の両立で本当につらい一年でした。その甲斐あって、長岡市役所から内定をいただいた時はとてもうれしかったです。今思うと、就活は同じ業種を目指している人と会って話ができたり、自分を見つめ直すきっかけになったり、自分にとってプラスになることがたくさんありました。これから就職活動に向かうみなさんにはぜひ、自分の軸をお忘れせずに、自分の気持ちを大切に、この先を過ごして行ってほしいと思います。

小松ゼミナールが商品開発した”新・柿の種”をネーブルみつけで販売しました。

私たち小松俊樹ゼミナールは2月12日に見附市の市民交流センターネーブルみつけにて、柿の種の販売を行いました。この柿の種は私たち学生がゼミの授業の一環として企画し悠久祭での試食アンケートを経て、阿部幸製菓株式会社(小千谷市)に生産委託したもので、乾燥フルーツ入りの「カラフル柿の種」です。当日はいくつ売れるのか全く予想ができずに不安でしたが、幸いにも全て売り切ることができました(148袋 売価150円)。お客様からは、「おいしい」「また買いたい」「次はいつ来るの」「応援してる」といった声をかけて頂き、今回の活動で商品を売ることの難しさ、売れた時の喜びを感じることができました。私は卒業しますが、3年生

には今後もこの活動を継続して行って欲しいと思います。最後に阿部幸製菓の丸山さん、内藤さん、まちの駅駅長の中川さんをはじめ、ご協力いただいた皆様に感謝とお礼を申し上げます。

人間経営学科4年 大野 陽



長岡大学の「長岡地域<創造人材>養成プログラム」が、平成25～29年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業=大学COC事業」に採択されました。長岡市とともに産業活性化、社会課題解決および地域・コミュニティ活性化に取り組んでいます。

今月は長岡大学COC事業の取組概要をお伝えします。

現代の「米百俵の精神」の実現をめざして 連携自治体：長岡市

長岡地域<創造人材>養成プログラム

※<創造人材>とは、地域課題解決・価値創造を担う専門的能力を身につけた学生・社会人

大学改革の方向 **<創造人材>養成で地域に貢献する大学 一地域で役に立ち、頼りになる大学一**



事業の概要・目的

地域の課題 連携自治体<長岡市>

- 産業活性化** (平成25年度申請時点)
グローバル経済下の競争に勝つ(産業空洞化回避)のための企業競争力の強化と新産業創出の方策を考える。
- 市民協働による社会課題解決**
高齢化に伴う健康、医療、福祉、環境等多様な課題解決を市民協働でどう進めるかを考える。
- 地域・コミュニティの活性化**
少子高齢化に伴う人口減少下で、どう地域・コミュニティの活性化を行うか、を考える。

課題解決のための大学の取組

教育

諸専門能力(上級情報・専門資格取得)、地域志向科目の拡大・進化による社会人基礎力、起業人材の養成。

研究

産業競争力、創造人材、人口減少、ボランティアの4つの調査研究と課題解決に貢献。地域志向調査研究も推進。

社会貢献

地域活性化の推進(中山間地等、市民講座や企業人養成講座、起業人材の養成(女性等)による社会貢献。

人材育成の取組

ローカル型
L型大学へ!

人材育成像

- **専門資格と社会人基礎力を有する仕事積極推進人** 地域企業活動等の若者担い手
- **ボランティア・スキルを身につけたボランティア人** 地域の市民協働の担い手
- **起業ノウハウを身につけた学生起業人材** 地域の新産業の担い手
- **企業競争力を支えるイノベーション人材** 専門ノウハウを有する企業人
- **女性・シニア等起業家** 地域の新産業の担い手

目指す人材育成のためのカリキュラム改革

■ 専門等資格取得のしくみ構築

資格取得支援センターによる、資格対応型専門教育プログラム(専門演習-受験対策講座-相談・指導)を強化。

■ 地域志向科目の拡大と進化

地域志向科目の拡大、地域課題解決プログラムの充実。

■ 起業家塾の充実

夏季集中の起業家塾授業を年間継続開催に拡大。



これまでの成果

■ 資格取得相談者・取得者

平成26年度資格取得支援センターへの相談者数は延べ1200人。取得者数延べ61人、合格率43.6%。

■ 地域志向科目の拡大

16から35科目に拡大した(平成26年度)。

■ 地域活性化プログラムの拡大・充実

地域の課題解決をテーマとする、学生による地域活性化プログラム(3・4年生必修ゼミ)は、10プロジェクトに拡大。

学生による地域活性化プログラム
平成26年度 成果発表会



■ 人材育成の取組事例

学生による地域活性化プログラムより事例紹介

事例1 (3・4年生必修ゼミ/4単位)

十分杯で長岡を知らせよう

江戸時代の長岡藩で俵約を奨励するものとして奨励された「十分杯」(サイフォンの原理応用の杯)の歴史、意義、現代での生かし方等を調査研究し、長岡市の文化財として位置づけ直し、観光文化資源としてアピールするべきとの提案を行った。長岡市・地域から関心をよび、高く評価された。学生の課題解決・社会人基礎力は大いに向上した。



事例2 (3・4年生必修ゼミ/4単位)

企業の情報発信とホームページの役割

長岡大学も参加するNPO法人長岡地域産業活性化協会NAZEの中小製造業企業のホームページをコンテンツとシステム両面から診断評価し、改善提案を行う。平成25年度2社、26年度3社行った。いずれも、NAZE総会で発表し、好評を得ている。学生の社会人基礎力も向上した。



課題に対する大学の取組	25年度	26年度(予定)	29年度最終年度(目標値)
地域志向科目の履修科目数(学生数)	19 (680)	35 (1,000)	35 (1,000)
地域活性化プログラム(授業)参加学生割合	40%	50%	80%

卒業後の学生のイメージ

- 1 情報・専門的資格(能力)をもち、かつ事業を主体的・創造的に推進する意欲をもち、職場のリーダーとして活躍できる人材
- 2 地震等災害や地域活性化の諸活動に積極的に参加し、かつ、そうしたボランティア活動を中心になって担い、人口減少社会への貢献を行える人材

カリキュラムマップ

	1年	2年	3年	4年
地域志向科目				
社会人基礎力養成科目				
専門科目(資格取得)				

地域産業界・社会から求められている能力=専門性・社会人基礎力とボランティア・スキルを4年間で養成し、地域企業・社会のリーダーとして活躍できる能力を養成する授業を行う。

地域志向カリキュラムの特徴

地域志向科目35科目

平成26年度から地域志向科目を35科目に拡大し、地域を学び、地域課題解決に取り組む領域を大幅に拡大した。

社会人基礎力養成科目

● ボランティア・スキルの養成

1年生から、ボランティア論・体験授業(4単位)と地域の諸ボランティア活動を行う。

● インターンシップ

2年生から、インターンシップ(集中型、課題解決型)(2単位)を行い、地域企業での就業体験、課題解決活動を行う。

● 学生による地域活性化プログラム

主として3・4年生ゼミ(必修)を対象にして、<学生による地域活性化プログラム>を実施。同プログラム推進協議会(連携自治体長岡市等)で地域の取組課題(産業、環境、福祉、コミュニティ、文化、国際等)を各ゼミごとに設定し、連携アドバイザーとゼミ担当教員の指導のもとに、文献調査・フィールドワーク等を行い、課題解決提案を行うPBL型プロジェクトである。平成26年度は10プロジェクトが参加した。

米百俵の精神を受け継ぐ人材の育成強化を



新潟県長岡市
市長政策室政策企画課課長 **中村 英樹 氏**

長岡大学と長岡市は、平成19年に包括連携協定を締結し、ものづくりの生産性向上や起業創業、地元産業界が求める人材育成など、より具体的に地域課題の解決に取り組んでいます。本プログラムを通じて、学生が地域の中に入り、祭りなどの伝統を支え、さらには地域住民と一緒に活性化策を考える場面を見ると、積極的かつ創造的人材が育っていると実感しています。これからも、長岡が誇る米百俵の精神を受け継ぐ人材の育成強化に取り組まれることを期待しております。

「起業家塾」から県知事賞受賞



長岡大学
環境経済学科4年次 **石井 恵夢**

「起業家塾」は夏季集中授業(2単位)です。8月の4日間、数名で仮想会社を立ち上げ、ビジネスプランを競います。私もこの科目を履修し、5人のチームでマクロビオテックと米粉を融合したレストランを企画しました。このプランは新潟県のキャンパスベンチャー・コンテストで、見事、最優秀賞=知事賞を受賞しました(平成24年度)。COC事業でも継続しています。社会人基礎力が大いに向上し自信がつかう奨め授業です。

